

別紙 機能仕様書

No.	要件・仕様
	1. システム要件
	<利用者機能>
1	簡易検索と詳細検索を用意すること。
2	ID/パスワードでログインすることにより、貸出・閲覧・返却・予約が行えること。
3	ライセンスフリーの独自資料はログイン不要で閲覧できること
4	「借りる」ボタンを押すことにより、貸出手続きが完了すること。
5	貸出期間が過ぎたら自動的に返却されること。
6	貸出中の書籍は予約ができること。（予約者数を表示できること）
7	貸出の延長が行えること。（延長を行わない設定もできること）
8	利用者向けの詳細な日本語オンラインマニュアルがあること。（困った時の対処法含む）
9	試し読みができること。（注1）
10	マイページ機能があり、貸出一覧、予約一覧を確認することができて、返却、貸出延長、予約取り消し、パスワード変更が行えること。
11	トップページの各種バナーから別サイトに移動できること。
	<管理機能>
12	利用者登録機能があること。
13	利用者権限の設定が行えること。
14	閲覧制限された資料を読むことができるIDを登録できること。
15	利用者一括登録機能があること。
16	利用者情報の変更・削除が行えること。
17	図書館側で任意の文字列のIDとパスワードが登録できること。
18	利用者の貸出・予約状況が確認できること。
19	独自資料の一括登録が行えること。（容量10GB以上）
20	独自資料の変更・削除が行えること。
21	お知らせの登録・変更・削除が行えること。
22	トップページのレイアウトや色を変更できること。
23	コンテンツ表示形式を変更できること。
24	トップページのロゴ画像を登録・変更できること。
25	新着案内の表示順の変更や削除が行えること。
26	トップページに表示するバナーを複数登録できること。
27	各種統計を集計することができること。
28	詳細な管理者向けオンライン日本語マニュアルを用意すること。
29	市内小中学生（約3万人）に対して、利用者番号・パスワードを付与できること。
	2. クラウド要件
	<セキュリティ対策・体制>
30	サービス提供業務の遂行のために提供する情報（契約等の手続きに付随してクラウドサービス事業者が知りうる利用者情報等）を、サービス提供業務の遂行目的外で利用しないこと。情報の目的外利用の禁止に対する遵守（義務）の表明をすること。
31	情報セキュリティインシデントが発生した場合に、被害を最小限に食い止めるための対処方法（対応手順、責任分界、対応体制等）について提示すること。
32	障害や情報セキュリティインシデントの発生、監査結果等によって、情報セキュリティ対策の履行が不十分であると認められた場合の対処（改善の実施等）方法について提示すること。
	<認証>（注2）
33	サービス提供を行う組織が、ISO/IEC27001：2013認証を取得していること。
34	サービス提供を行う組織が、ISO/IEC27001：2015認証を取得していること。
	<サービスレベル>
35	クラウドサービス事業者との間の管理境界や責任分界を明確にすること。
36	クラウドは正式リリースのサービスを提供すること。
37	可用性に係るサービスレベルについて提示すること。
	<ログ取得>

別紙 機能仕様書

No.	要件・仕様
38	クラウドサービス上におけるアクセスログ等の証跡に係る保存期間について、1年間以上の保存が可能であること。その手法について提示すること。
	<脆弱性対策>
39	クラウドサービス上の脆弱性を発見する方法があり、実施可能であること。その手法について提示すること。
	<データ消去> (注3)
40	データを消去する際は、ISO27001に準拠してデータを復元できないように電子的に完全に消去又は廃棄すること。また、データ消去について第三者の監査機関による監査を受けた内容を提供することが可能であること。
	注1：コンテンツタイプ、出版者の許諾、コンテンツ作成状態によりできないコンテンツがあることは可
	注2：クラウドサービス（データセンター）事業者は必須要件とし、サービス提供（SaaS）事業者は任意とする。
	注3：データ消去はサービス提供（SaaS）事業者の責任範囲とし、ハードディスク等の電子記録媒体の廃棄（破壊等）はクラウドサービス（データセンター）事業者の責任範囲とする。